

コンテンツ マネージメント システム

CMSで サクサク更新 ウェブサイト

ウェブサイト
イントラネット
ホームページ



text: 増田"maskin"真樹 illust: 小松恵

第4回

これなら使える!! 多機能イントラ作り Xoopsで営業部イントラを作ろう(3)

ウェブサイト
イントラネット
ホームページ



プラグインを使ってより実用的なサイトにする

インストールから苦労の連続……。ようやく掲示板まで組み上がった自分だけのCMSの調子はいかがだろうか。さまざまな機能が追加できるコンテンツマネジメントシステムのXoopsには、いわば無限の拡張性がある。Xoopsのプラグインファイルは、有志によってさまざまなものが公開されており、それを上手に組み合わせることで、より実用的なCMSサイトができるはずだ。今回は、営業イントラに使えるプラグインモジュールをセレクトして、実際に使えるところまでの手順を1つ1つ追っていく。

社内イントラの コンテンツセキュリティー

前回は、初期設定から始まり、簡単なモジュールの組み込み、ページレイアウトデザインまでを行った。この1か月で、ニュースの配信やフォーラムでの議論などの基本的な操作は問題なくできるようになったのではないと思う。まだ問題を抱えている人は、159ページに書いてあるサポートサイトをチェックしてほしい。

プラグインの解説の前に重要なことを1つ説明したい。社内のあらゆる情報がイントラサイトに流れ始めたとき、もっとも怖いのが「外に出ては困る情報の流出」や「越権発言」といったトラブルである。たとえば、

ゲストには不可視にしていた記事が実は公開されていたり、上司への悪口を社員全員に公開したりというものだ。もちろんメールでも同様のトラブルがあって社会問題化していて、これらは「コンテンツセキュリティー問題」と呼ばれている。これと同じような事故はイントラサイトでは起こしたくない。

そこでXoopsの「禁止用語」指定で、ある程度のカバーはできるので試してみよう。管理メニューでログインした後「禁止用語 / アクセス拒否IP / 禁止ユーザー名」の設定を開き、

問題となりそうな言葉の使用を禁止してしまおう。100パーセントカバーすることはできないが、意外と効果は大きい。

図1 禁止用語の指定



禁止用語に入力した言葉は、「###」で表示されるようになる。そもそも入力してはならない技術の名前や人名、プロジェクト名などを入力しておくだけでも効果はある。

さあ、新しい機能を 導入しよう!

冒頭からいきなり難しいテーマに入ってしまったが、今回のお題は「機能拡張」だ。フォーラムでの意見交換だけじゃ物足りない「もっと活用できないの～?」などという声に、胸を張って応えていこう。

Xoopsは、そもそも機能拡張がウリなので安心してほしい。

「XOOPS日本語モジュールプロジェクト」[URL](http://xoops.jp)というものがあって、日々素晴らしい機能をもった追加モジュールが登場していて、誰でも利用できるようになっていく。気に入ったものをダウンロードして、次のパスにフォルダーごとコピーすればイ

ンストールは完了するのだ。

```
C:\Program Files\Apache Group\
Apache\htdocs\xoops\modules
```

そうなると話は簡単だ。ユーザーが求めている機能を見つけて、早速インストールしてみよう。

ご意見求む! 投票モジュール

「ちょっとまてよ、どんな機能をインストールすればスタッフのみんなは喜んでくれるだろうか?」と悩む前に、実際にみんなの意見を聞いてみるのがいちばんだ。前

回インストールした「Polls(投票)」モジュールを使って、CMSに追加してほしい機能を投票で選んでもらうのだ。

投票の設定は簡単だ。管理者のアカウントでログインした後、管理者メニューの左側で「Polls」[投票の作成]を選択しよう。すると「新規投票の作成」画面(図3)が現れるので、「質問」、「説明」、「選択肢」を順に入力していこう。たとえば、天気予報やニュースリンクなどは要望されることが多い機能だろう。選択肢の右側にある色のバーは結果表示の際に使われるものだ。最後に「送信」ボタンを押して、今度は管理メニューの[System Admin][ブロック管理]でブロックの配置や表示のON/OFFを設定すれば、トップページに投票ブロックが登場する(図4)。

図2 XOOPS日本語モジュールプロジェクト



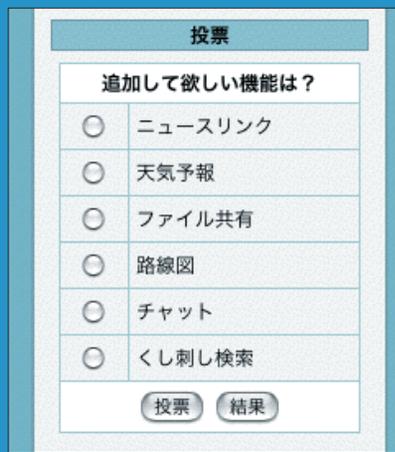
<http://xoopsjp.planewave.org/modules/news/>

図3 新規投票の作成



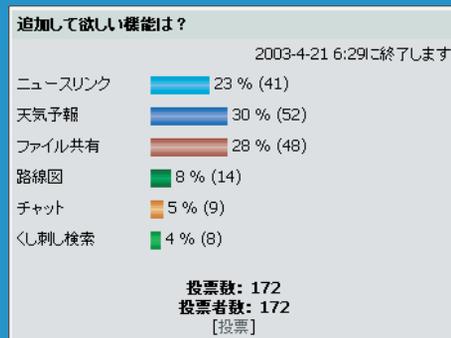
内容と期限を決めて、投票を実施しよう。複数の選択肢を選べるようにすることもできる。「投票終了時に作者にメールを送信する」を「はい」にしておけば、終了したことがアナウンスされるので便利だ。

図4 トップページに表示された投票ブロック



1つだけでなく複数個作成することもできる。難しい問題を投票で調べる場合、無理に1つにまとめるよりも、2~3個立てたほうが効率がいい。

図5 投票の結果表示



投票結果は随時表示でき、わかりやすいグラフで表示できる。グラフの色は投票作成時に設定した色で表示される。

明日の天気をトップページに 天気予報モジュール

図6 「モジュール管理」からインストール

モジュール	バージョン	最終更新日	管理	無効化 (0 = 非表示)	バージョン情報
Comment お問い合わせ	1	未インストール	更新なし	<input type="checkbox"/>	バージョン情報
Aggregator 今日の注目	1	未インストール	更新なし	<input type="checkbox"/>	バージョン情報
Header ヘッダデザイン	1	未インストール	更新なし	<input type="checkbox"/>	バージョン情報
XP-Weather お天気ガイド	1.3a(J2)	未インストール	インストール	<input type="checkbox"/>	バージョン情報

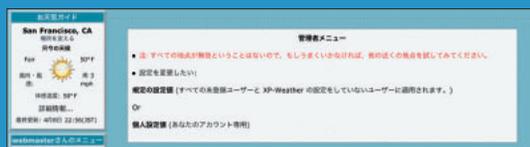
フォルダーをコピーするだけで管理者メニューの「モジュール管理」に表示される。

図7 「ブロック管理」で表示設定

ブロック名	タイトル	表示サイズ	表示 / 非表示	管理
XP-Weather Block		0	はい	編集
User Check		1	はい	編集
Login Block		2	はい	編集
Main Menu Block		1	はい	編集
Waiting Contents Block		4	はい	編集

モジュールをインストールしたら管理者メニューの「ブロック管理」を確認する必要がある。

図8 XP-Weatherの設定は2種類ある



システムのデフォルトの設定と個人別の設定に分けて設定できるので、地方に営業所があって部署イントラを共有している場合でも柔軟に対応できる。

図9 表示するエリアと表示の単位を設定

XP-Weather 設定情報

- ここで、地域、国、区域、都市を選択することができます。
- 所在地無効に指定する地域はカスタマイズできません。
- 以下のいずれか「指定変更」をクリックするをお勧めします。

現在の設定値 (すべての無効化ユーザーと XP-Weather の設定を新しいユーザーに適用されます。)

個人設定値 (あなたのアカウント専用)

以下の項目もどちらかを選択してください。

言語 (lang):

- 標準(C)
- 標準(J)

単位 (unit):

- m/s (メートル/秒)
- mph (マイル/時間)

まず国が都市、地域と、細かく範囲を狭めていく。温度は「摂氏C」、風速は「m/s」にしておかないとわからなくなってしまう。



図10 便利な天気予報が追加された

無事に設定完了。天気の情報や「詳細情報」をクリックすれば、非常に詳細な予報画面が表示される。レーダーや気象衛星、降水確率のリンクもあり、ほぼ完ぺきといったところだ。「使えるぞ!」

さて、投票の結果はどうだっただろうか？ おそらくビジネスに必要な情報から固めていくことになるだろう。

ここで、筆者がチョイスしたのは「天気予報」のブロックだ。営業部ならば、翌日の行動に直接関係する天気の情報に重要だ。ということで見つけた「XP-Weather」は、とても優れた天気予報表示システムだ。日本国内はもちろん、世界中の都市を非常に細かいセグメントで予報してくれる。日本語化されたモジュール(XP-Weather1.3a(J2))がhypweb.net URL02からダウンロードできる。

先程説明したようにインストールは非常に簡単だ。ダウンロードしたファイルを解凍してできる「XP-Weather」というフォルダーを、Xoopsの「modules」フォルダーにコピーするだけで。

すると、管理者メニューの「モジュール管理」の画面に早速「XP-Weather」というアイコンが現れるので、リスト項目の「管理」から「インストール」を選択しよう(図6)。

インストールが完了しただけでは、ブロックが非表示のままなので、同じく管理者メニューの「ブロック管理」で場所を決めて(ここでは左上)「表示 / 非表示」で「はい(表示)」を選べばOKだ(図7)。トップページに行くと、左上に「お天気ガイド」ブロックが表示されたのがわかるだろう。

デフォルトでは米国のサンフランシスコ(暖かい!)が設定されているが、「場所を変える」をクリックすれば世界中の都市と地域から選択できる(図8)。ここで「規定の設定値」を選べば、新規ユーザー(もしくはXP-Weatherをデフォルト設定で使っているユーザー)に変更が適用される。

実際の設定項目はわかりやすいが、気温と風速の表示単位を使い慣れたものに変更するのを忘れてはいけない(図9)。

hypweb.net
URL02 http://hypweb.net/xoops/

有用なニュース記事をゲット!
NewsGet!!モジュール

さあ、さらに便利な機能を追加していこう。筆者の次のチョイスは「News Get!!」[URL03](#)だ。これは、あらかじめ指定しておいたニュースサイトの記事に、手軽に見出し付きのリンクを張る機能だ。たとえば、「あ、この記事は、うちの部署にとって重要な」と思ったとき、そのニュースのURLをコピー&ペーストするだけで、見出し付きでトップページにリストアップできるのでユーザーに手軽に紹介できるというものだ。

これもインストール方法は同じで、ダウンロードした「newsget」というフォルダーをXoopsの「modules」にコピーして、管理

メニューの「モジュール管理」からインストールし、「ブロック管理」で表示すればいい。

管理メニューの左リストから「NewsGet!!」

[ニュースサイト編集]を選択する。ここでは、ニュースのリンク先となるニュースサイトを登録する。まず「ニュースサイト名」として「ニュースサイトURL」を入力しよう。「チェックワード」というのは、ニュースページのHTMLで「ニュースのタイトル」が表示されている部分の特別な文字列を指定する。これを指定することで、ニュースのタイトルの場所を判別するのだ。

何か1つのニュースを使って試してみよう。たとえばINTERNET Watch [URL04](#)のニュースページを開いてHTMLソースを見てみると、ニュースのタイトルの前に必ず「<title>」という文字列が入っている。これが、INTERNET Watchサイトの「チェ

ックワード」となるわけだ(図12)。

このチェックワードは、ニュースサイトによって異なるので、他のニュースサイトを指定するときは、「ニュースサイト追加」の下の欄にある「チェックワード探索」を活用しよう。ここにニュースページのURLを入れれば、チェックワードと思われる部分の色が変わって見えるのだ(図13)。

ニュースサイトの設定が終わったらトップページに行って、リンクを作りたいURLを入力しよう。するとニュースのタイトルとリンクが表示されるようになる。もちろん他のイントラサイト(社内ウェブ)へのリンクを作ることも可能だ。

NewsGet!
[URL03](#) http://www.phpoo.net:8080/

INTERNET Watch
[URL04](#) http://internet.watch.impress.co.jp/

図11 「モジュール管理」からインストール

モジュール	バージョン	最終更新日	管理	インストール済	バージョン情報
最新!お祝い	1	未インストール	インストール	<input type="checkbox"/>	バージョン情報
今日は何の日	1	未インストール	インストール	<input type="checkbox"/>	バージョン情報
今日の占い	1	未インストール	インストール	<input type="checkbox"/>	バージョン情報
ニュースサイト	1	未インストール	インストール	<input type="checkbox"/>	バージョン情報

「モジュール管理」のページを開くと、最下部に「NewsGet!!」の文字が「ブロック管理」でブロックを表示する作業も忘れないうようにしよう。

図13 「チェックワード探索」を使ってチェックワードを探す

「チェックワード探索」ニュースページのURLを入力し「check」ボタンを押すと、その下にソースが表示される。色がついているところがタイトルと思われる場所。よく見ると、このページのタイトルには「<title>」というタグがある。

図12 ニュースサイトとチェックワードを指定

INTERNET Watchのウェブページを指定。このタイトルカットは「<title>」で指定できる。

図14 トップページに表示されたニュースリンク

業務に関連のあるニュースを登録しよう。イントラ限定のニュースヘッドラインの完成だ。

部署内で予定表を共有 eCalモジュール

天気予報、ニュースリンクで情報を確認したら、あとは実際の営業活動に役立つサービスが必要になるだろう。だからここで、部署内全体のカレンダーを共有しておくといいたい。 「XOOPS日本語モジュールプロジェクト」[URL](#)から、「eCal」というモジュールを紹介しよう。ユーザー間でスケジュールを共有するためのイベントカレンダーモジュールだ。

これもインストール手順は同じだ。ウェブサイトから「eCal」で検索して「カレンダー-eCal 2.2b 日本語化 + 拡張ブロック」をダウンロードし、解凍した「eCal」フォルダーを、Xoopsの「modules」にコピーしてから管理メニューの「モジュール管理」でモジュールをインストールする。

管理メニューの左メニューにアイコンが現れるので、まず「環境設定」を開こう。設定するのは1か所だけだ。匿名ユーザーが予定を追加できるというはまずいので、これを「いいえ」にして「承認 / 編集」ボタンをクリックして終了する(図15)。

後は、「ブロック管理」で予定の「ピックアップ」(カレンダーに書かれた予定のリストのみ)を配置する場所を「イベントカレンダー」の項目で決めれば完了だ(図16)。

トップページの「メインメニュー」にイベントカレンダーの項目が追加されていて、そこからは誰でも予定を追加できる(図17)。トピックをクリックすれば、カレンダー表示で、ユーザーみんなの予定をチェックできる(図18)。厳密に「何時から何時まで」というスケジューラーではないのだが、複数の日付にわたる設定も可能で、たとえば「5、10、15、20日は営業会議の日」のような設定もできる。また、ユーザーは自由にスケジュールを投稿できるが、管理者が承認しないと表示されない仕組みになっているので、ユーザー全員で共有する情報としては十分だといえる。

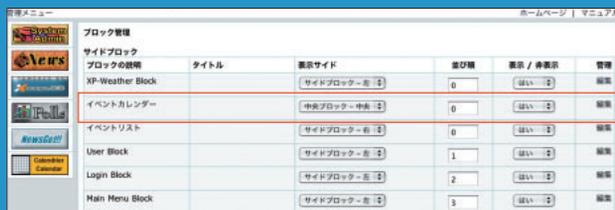
これで営業部イントラも本物(!?)といってもいいくらい充実したのではないだろうか。

図15 セキュリティーを考慮しよう



匿名ユーザーがスケジュールを書き換えてはまずいので制限をしよう。

図16 表示位置の設定



トップページでの表示は、カレンダーに書かれた予定のリストだけ。ここでは中央にしたが、サイドでも問題ないはず。

図17 予定の追加



複数の日付にまたがって予定を入力できる。時間の範囲は指定できないけれど、市販されているスケジュールソフトより優秀(?)と思える部分も。

図18 カレンダー表示



入力した予定は、月表示でも確認できる。その日の日付の色が変わるところも親切だ。これで営業部イントラも実用レベルといえるだろう。

管理負担をさらに軽減 FileManager モジュール

最後に、アップロードやHTMLファイルの変更など管理者の作業負担を大幅に軽減する「ファイルマネージャー」を導入しよう。「XOOPS日本語モジュールプロジェクト」[URL①](#)で「filemanager」で検索すれば見つかる。

「filemanager」フォルダーをXoopsの「modules」にコピーしてインストールすれば作業は完了だ(図19)。管理メニューにログインすれば「Filemanager」のアイコンが現れる。これをクリックすれば、Xoopsがインストールされているディレクトリーの内容がすべて表示され、ファイル名の横に表示されるアクションアイコンを使って操作できる(図20)。

ページの最下部には、ファイルのアップロードや、ディレクトリー/ファイルの作成機能も用意されている(図21)。これでFTPソフトを起動したり、ディレクトリーの

場所をいちいち探したりする手間もなくなる。管理者としてXoopsにログインさえできれば、どこからでもファイルの管理ができるのだ。

まとめ

数回にわたり、CMSの中でもコミュニティサイト構築にフォーカスした、使いやすく機能が豊富なXoopsを紹介してきた。インストールこそ大変だったが、機能を拡張するたびに、「これは使える!」と感じた人は多いのではないだろうか。

CMSの最大の魅力である“ユーザーにとって便利な機能”を必要なときにリアルタイムに導入できるのは、とても魅力のあることだが、人はそれだけでは動かない。一番大切なのは、サイトの魅力と目的を利用者全員に理解させることだ。これが明確に示すことができれば、ユーザーは必ずサイトのファンになるはずだ。つまり、

CMSの管理者の仕事は、プログラムとかシステムの雑多な作業ではなく、本質的にサイトを管理するということに尽きるのである。

Xoopsの解説は今回で終了し、次回からはまた別のMovable TypeというCMSを使ってその可能性を追求していきたい。

筆者プロフィール

増田"maskin"真樹
フリージャーナリスト / 情報デザイナー。
blog : metamix.com

作ったCMSサイトを公開中!!

この連載で構築したXoopsのサイトを公開しています。自由に参加できるので、CMSサイト構築に関する話題を話し合ったり、連載の内容でうまくいかなかったことを質問したりして活用してください!

(協力: MyWebjapan)

URL <http://test.mywebjapan.com/xoops>

図19 「モジュール管理」でインストール

モジュール	バージョン	最終更新日	情報	インストール	バージョン情報
File Manager	1	2003/04/04	インストール	<input type="checkbox"/>	バージョン情報
File Manager	1	2003/04/04	インストール	<input type="checkbox"/>	バージョン情報
File Manager	1	2003/04/04	インストール	<input type="checkbox"/>	バージョン情報
File Manager	2.2	2003/04/04	インストール	<input type="checkbox"/>	バージョン情報

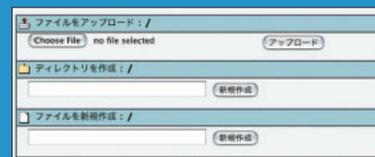
モジュールをダウンロードしてXoopsにコピーしたら、管理メニューの「モジュール管理」でインストールする。このモジュールは管理者メニューから使うものなので、「ブロック管理」での表示設定は必要ない。

図20 ファイル管理画面

ファイル名	サイズ	種類	変更日時	アクション
manual	4 Kb	ディレクトリ	06/04/2003 19:45	[複製] [削除] [名前変更]
modules	4 Kb	ディレクトリ	06/04/2003 00:25	[複製] [削除] [名前変更]
themes	4 Kb	ディレクトリ	06/04/2003 20:20	[複製] [削除] [名前変更]
138_to_139.php	4.12 Kb	PHP スクリプト	06/04/2003 19:37	[複製] [削除] [名前変更]
admin.php	5.27 Kb	PHP スクリプト	06/04/2003 19:37	[複製] [削除] [名前変更]
backend.php	2.79 Kb	PHP スクリプト	06/04/2003 19:37	[複製] [削除] [名前変更]
banner.php	10.8 Kb	PHP スクリプト	06/04/2003 19:37	[複製] [削除] [名前変更]
edituser.php	13.75 Kb	PHP スクリプト	06/04/2003 19:38	[複製] [削除] [名前変更]
favicon.ico	5.36 Kb	ファイル	06/04/2003 19:38	[複製] [削除] [名前変更]
footer.php	644 b	PHP スクリプト	06/04/2003 19:38	[複製] [削除] [名前変更]
header.php	2.16 Kb	PHP スクリプト	06/04/2003 19:38	[複製] [削除] [名前変更]
index.php	2.13 Kb	PHP スクリプト	06/04/2003 21:11	[複製] [削除] [名前変更]
layersmenu.js	3.44 Kb	Javascript	06/04/2003 19:45	[複製] [削除] [名前変更]

最初にXoopsのディレクトリーが表示される。アクションの列のアイコンは、左からコピー、移動、名前変更、削除、編集、ダウンロードを示す。

図21 アップロードなどの機能もある



ページの最下部にあるアップロードメニュー。アップロードするファイルは、「Choose File」をクリックすると表示されるダイアログで指定するだけでいい。

図22 充実したイントラサイトが完成!



ニュースリンク、カレンダー、天気予報が搭載されたCMSサイト。ここまで情報が充実すれば、ひとまず十分といえよう。あとは管理者の「腕」次第といったところだ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp